

最後に

1. 新型コロナウイルス感染症について

令和元年12月、中華人民共和国で肺炎患者が集団発生しました。その後、新型コロナウイルス感染症の感染は世界に拡大し、世界保健機関（WHO）は公衆衛生上の緊急事態を令和2年1月30日に宣言しました。日本では、1月16日に初めての患者が報告され、2月1日に指定感染症に認定されました。

3月下旬から患者数が増加し、4月には改正新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき緊急事態宣言が発出されました。5月2日には弥富市でも初めての患者が報告されました。人が集まる場所での感染リスク回避のため、学校や公共施設の臨時休業、毎年恒例のイベント等が中止され、人々の日常生活は一変しました。

5月25日には緊急事態宣言が解除されたものの、その後も患者数は再び増加し重症患者の増加で医療がひっ迫し、令和3年1月には再び緊急事態宣言が発出されました。

令和3年2月現在、新型コロナウイルスワクチンの予防接種により感染拡大を防ぐため、弥富市においても新型コロナウイルスワクチン接種推進室を設置し、円滑に接種が行えるよう準備をしている状況です。

2. 令和2年度健康増進事業と健康増進計画中間評価について

健康増進事業を推進していく上で、新型コロナウイルス感染症の拡大により様々な影響を受けています。特にがん検診等の受診控えに伴う受診率の低下、またそれによるがんや疾病の早期発見早期治療に今後大きな影響を及ぼすことが危惧されます。また、今回の中間評価の重点項目にもある「生活習慣病」や「こころ」についても大きな影響を及ぼす恐れがあります。

令和2年度は感染予防を念頭におき、集団検診では時間毎の予約人数の制限、当日の感染予防対策の徹底をしながら実施しました。また、集団健康教育を実施する上でも人数の制限をしたり密にならない工夫をしつつ試行錯誤しながら実施しました。

今後も新型コロナ感染症とともに感染対策を徹底しつつ新しい保健事業のあり方を試行錯誤しながら、今回の中間評価での重点項目「がん」「たばこ対策」「生活習慣病対策」「歯および口腔の健康」「こころの健康」を重点項目5本柱とし、取り組んでいきたいと考えます。



「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- ☐ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - ☐ 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - ☐ 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - ☐ 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
 - ☐ 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - ☐ 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- ☐ 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- ☐ 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- ☐ 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- ☐ まめに手洗い・手指消毒 ☐ 咳エチケットの徹底
- ☐ こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） ☐ 身体的距離の確保
- ☐ 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- ☐ 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- ☐ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- ☐ 通販も利用
- ☐ 1人または少人数ですいた時間に
- ☐ 電子決済の利用
- ☐ 計画をたてて素早く済ます
- ☐ サンプルなど展示品への接触は控えめに
- ☐ レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- ☐ 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- ☐ 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ☐ ジョギングは少人数で
- ☐ すれ違うときは距離をとるマナー
- ☐ 予約制を利用してゆったりと
- ☐ 狭い部屋での長居は無用
- ☐ 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- ☐ 会話は控えめに
- ☐ 混んでいる時間帯は避けて
- ☐ 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- ☐ 持ち帰りや出前、デリバリーも
- ☐ 屋外空間で気持ちよく
- ☐ 大皿は避けて、料理は個々に
- ☐ 対面ではなく横並びで座ろう
- ☐ 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- ☐ お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- ☐ 接触確認アプリの活用を
- ☐ 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- ☐ テレワークやローテーション勤務 ☐ 時差通勤でゆったりと ☐ オフィスはひろびろと
- ☐ 会議はオンライン ☐ 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成